

令和3年度

事業報告書

特別養護老人ホーム虹ヶ丘
ヶ ア ハ ウ ス 虹 ヶ 丘
虹ヶ丘短期入所生活介護事業所
虹ヶ丘デイサービスセンター
虹ヶ丘在宅介護支援センター
虹ヶ丘ホームヘルパーステーション
虹ヶ丘障害者短期入所事業所
虹ヶ丘障害者居宅介護事業所
ふれあいホーム 神宮寺

令和3年度 高齢者総合福祉施設虹ヶ丘 事業報告書

(1) 総括

令和3年度は、感染リスクに脅かされる日々を送る中で我々に求められている役割や使命を問い直すことを目的に、原点ともいえる運営方針を再確認することを重点課題に掲げ、ご利用者の尊厳や普通のあたり前の暮らしとはどうあるべきかを考えた一年でした。実際には長引くコロナ禍により、面会制限や行事の自粛等、あたり前の暮らしには程遠い支援しかできない悩みや葛藤を抱えながらも、可能な限り目の前のご利用者の姿やその声に誠実に向き合うように努めました。

各部門のトピックとしては、デイサービスでは1月に職員1名から陽性が認められましたが、プログラムを縮小しながら利用されている方の暮らしの継続を支援するように努めました。ヘルパーでは町内の他事業所の撤退を受けて高まった訪問介護の需要に対し、供給が途切れないように懸命にスケジュールを調整しました。小規模多機能では年度末にかけて急激な利用相談の増加に対応しながら地域で粘る実践を展開し続けています。特養では開設以来最も多い19名の終結者を出しながらコロナ禍にあってもご家族と一緒にやって行う看取りケアに取り組むように努めました。

法人本部体制の見直しに伴って進めた業務の合理化・効率化としては、処方薬の請求事務等の外部委託化、特養の預り通帳の返却と利用料の個人請求方法の見直し、各種の保管場所の整理、施設備品等の購入先見直し、IPネットワーク内の連絡ツールの導入等を行いました。サービス面においては、介護・看護職員にスマホを携帯させることによる間接業務の削減、Wi-fi型インカムの導入、特養における移動用リフト7台の導入、ヘルパー用のiPadを導入することによる記録時間等の間接業務の削減、フェースシートの整備等を行いました。また、有料契約しているインターネット型の動画視聴研修は、コロナ禍における職員の教育や育成に広く活用されるようになり、勤務時間内の隙間時間を活用することで超過勤務の削減にも一定の効果を出していると思われま。役職者には職員の超勤時間や有休残数の見える化を図り、部下の管理の効率化と共に、特養全ユニットの1.5労働夜勤の整備も合わせてワークライフバランスの充実にも取り組みました。

LED化工事については今年度は玄関や厨房、在宅浴室、避難誘導灯等の更新を図り、また、京都府の省エネプラットフォーム事業による省エネ診断を今年度も受診し、ボイラーの配管露出部の断熱や不要箇所との切り離し等の修繕及びその他の運用改善を図ったことで次年度以降の水道光熱費に何らかの影響が出てくるのが期待されることです。

次年度に向けては、受入れ計画が大きくずれ込んでいた技能実習生がいよいよ配属されることになったことで、介護現場における根拠に基づく介護の標準化と指導のあり方を見直しを早急に進めると共に、科学的介護や自立支援をキーワードとするサービスの質の転換を図るべく職員一丸となって取り組んでいきたいと思ひます。

(2) 面会状況

月	人数
4	9
5	14
6	11
7	56
8	11
9	14
10	60
11	62
12	46
1	32
2	12
3	13
合計	340

(3) 健康管理状況

内容	ご利用者(特養)		職員	
	月	人数	月	人数
血液検査			7	107
			12	39
尿検査			7	107
			12	37
心電図検査			7	107
			12	39
胸部レントゲン検査	3	49	7	107
インフルエンザ予防接種	11	50	11	64
			12	36

(4)年齢構成別荷重平均栄養価(所要量・摂取量)(4月分)

栄養項目	特養	ケア	所要量	単位
エネルギー	1,443	1,443	1,491	kcal
たんぱく質	56.1	56.1	58.4	g
脂質	34.5	34.5	42.3	g
カルシウム	423	423	623	mg

※ 食事摂取基準に基づき施設にあわせた所要量を算出

(5)全体行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
5/24	施設内草刈り	4	10/14	避難訓練	16
5/25	施設内草刈り	4	10/27	衆議院議員不在者投票	19
5月	特養入居者コロナワクチン接種	50	10月	職員PCR検査	
6月	職員ワクチン接種		11/9	特養虹の会運動会	35
6/17	神宮寺避難訓練	18	11/22	避難訓練	16
7/7	職員健康診断	107	12/7	神宮寺蕎麦打ち	25
7/13	あわしま祭り	20	12/14	デイサービス蕎麦打ち	25
7月	職員ワクチン接種		1/1	新年祝賀	90
7/30	施設内草刈り	4	2/10	職員PCR検査	
7/31	施設内草刈り	4	2/17	職員PCR検査	
8/6	ワークショップオオツキ無人販売	10	2/23	職員PCR検査	
8/7	ワークショップオオツキ無人販売	7	2/28	職員PCR検査	
8月	職員ワクチン接種		2月	職員・入居者ワクチン接種	
8月	職員PCR検査		3/7	職員PCR検査	
9月	職員PCR検査		3/15	職員PCR検査	
9/17	避難訓練	15	3/22	職員PCR検査	
9/19	施設内草刈り	3	3/23	入居者レントゲン検診	60
9/20	施設内草刈り	3	3月	職員・入居者ワクチン接種	
9/24	虹ヶ丘敬老祝賀式	62			

(6) ボランティア受入れ状況

月	グループ名	参加者数	内容
9	暁星高等学校	14	草取り・窓ふき

(7) 体験学習・研修受け入れ

月	内 容	実人数
7月	京都府立看護学校老年看護学実習	2
7月	加悦中学校体験学習	40
8月	京都府立看護学校老年看護学実習	3
9月	福祉即戦力人材養成科	6
9月	京都府立看護学校老年看護学実習	6

(8) 内部研修

月	内 容	講 師	人数
4月	虹ヶ丘新人研修①	管理職	9
5月	コンプライアンス研修	施設長	57
6月	介護報酬勉強会「報酬改定と基準改定の全体像」	WEB	8
	介護報酬勉強会「LIFEへの情報提供とフィードバック対応の評価」	WEB	3
	虹ヶ丘新人研修②	役職者	7
7月	講師養成伝達研修会	副施設長	4
	個別機能訓練加算WEB研修	WEB	5
	令和3年度第1回感染症勉強会	WEB	90
	虹ヶ丘新人研修③	役職者	6
8月	課題整理総括表の活用実践編	WEB	3
	日本介護支援専門員協会全国大会	WEB	3
	虹ヶ丘新人研修④	役職者	6
9月	令和3年度第1回リスクマネジメント勉強会	WEB	88
10月	虹ヶ丘新人研修⑤	役職者	6
11月	令和3年度第2回拡大管理会議	施設長	21
	令和3年度認知症勉強会	清原看護師	19
	特養新人研修①	特養役職者	2
	特養新人研修②	特養役職者	2
	令和3年度第2回感染症勉強会	感染症委員	9
	ユニットIN北京都全体研修会	武田和典氏(WEB)	10
1月	財政説明会	事務局長・施設長	36
2月	令和3年度看取り勉強会	看取り委員	49
	介護従事者の接遇に関する理解	WEB	1
3月	令和3年度第2回リスクマネジメント勉強会	WEB	74

(9-1)派遣研修

月	研 修 名	主 催 者	人数
6月	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅰ】	京都府	1
	令和3年度京都府主任介護支援専門員研修	京都府	1
7月	令和3年度京都府主任介護支援専門員研修	京都府	1
	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅱ】	京都府	2
	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅰ】	京都府	1
8月	令和3年度京都府主任介護支援専門員研修	京都府	1
	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅰ】	京都府	1
9月	令和3年度京都府主任介護支援専門員研修	京都府	1
10月	令和3年度京都府主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	リハビリ道場見学	虹ヶ丘	4
11月	甲種防火管理者新規講習	宮津与謝消防署	2
	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅱ】	京都府	2
	認知症キャラバンメイト養成研修	与謝野町	7
	令和3年度京都府主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
12月	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅱ】	京都府	2
	令和3年度安全運転管理者等に対する法定講習	京都府公安委員会	1
	褥瘡・スキンケアについて	丹後園	1
	令和3年度京都府主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
1月	令和3年度京都府主任介護支援専門員更新研修	京都府	1

(9-2)オンライン研修

月	研 修 名	主 催 者	人数
4月	日本経営セミナー	株式会社日本経営	1
5月	府老協総会	京都府老人福祉施設協議会	1
	介護施設における安全対策担当者養成研修	全国老人福祉施設協議会	1
6月	福祉職のためのメンタルヘルスケア研修	京都府社会福祉協議会	1
	認知症介護実践者等養成研修	京都府老人福祉施設協議会	1
7月	課題整理総括表の活用基礎編WEB会議	京都府介護支援専門員会	1
8月	ノーリフティング研修	全国ノーリフティング推進協会	2
	ユニットリーダー研修	ユニットケア推進センター	1
9月	地域包括ケア全体研修会	京都地域密着型サービス事業所協議会	2
	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
	日本人の食事摂取基準（2020年版）について	丹後保健所	1
	排泄ケアが介護を変える排泄ケアのいろいろ	リブドゥコーポレーション	1
	認知症介護実践者等養成研修	京都府老人福祉施設協議会	1
	指定施設における不在者投票事務に関する説明会	京都府選挙管理委員会	1

10月	リーダー看護師等養成研修	京都府	1
	令和3年度医療と介護の連携推進研修会	丹後保健所	5
	福祉リーダーの極意を学ぶセミナー	京都府社会福祉協議会	1
	令和3年度介護報酬改定関連「各種加算の取り方等」伝達研修会	京都府栄養士会	2
	認知症の人意思決定支援研修	京都府	1
	中堅職員研修	京都府老人福祉施設協議会	1
	令和3年度京都府主任介護支援専門員更新研修	京都府	1
	「新たなケアプラン標準様式の活用方法や報酬改定の疑問点を学べる」	京都府介護支援専門員会	1
11月	令和3年京都府介護支援専門員実務経験者更新研修【課程Ⅱ】	京都府	2
	介護ロボット活用ミーティング	テクノエイド協会	1
	令和3年度介護報酬改定の実務	京都府栄養士会	2
	ユニットリーダー研修	ユニットケア推進センター	1
12月	美須賀病院ノーリフティング・ケアの取り組み	パラマウントベッド(株)	1
	令和3年度民間社会福祉施設長研修会	京都府	1
1月	認知症対応型サービス事業管理者研修	京都府	1
	府老協北部3ブロック管理者研修	京都府老人福祉施設協議会	1
	施設看取り介護導入研修	京都府老人福祉施設協議会	2
	認知症介護実践リーダー研修	京都府老人福祉施設協議会	1
2月	施設看取り介護導入研修	京都府老人福祉施設協議会	2
	認知症介護実践者等養成研修	京都府老人福祉施設協議会	1
	令和3年度介護報酬改定の実務	京都府栄養士会	2
3月	難病患者等ホームヘルパー養成研修	京都府	1
	全国老人福祉施設大会山口大会	全国老人福祉施設協議会	2
	時間を効果的に活用するための～職場マネジメントセミナー～	全国社会福祉法人経営者協議会	1

(10) 諸会議参加状況

会議名	主催者	延べ日数
技能実習生受入準備委員会	技能実習生受入準備委員会	5
技能実習生面接	技能実習生受入準備委員会	1
CCJWEB会議	ケアコネクトジャパン	1
ユニットIN北京都食事部門会議	ユニットin北京都	3
与謝野町権利擁護支援体制検討委員会	与謝野町福祉課	2
与謝野町ワクチン説明会	与謝野町保健課	2
ユニットin北京都デイサービス部門会議	ユニットin北京都	2
ユニットin北京都施設長会	ユニットin北京都	3
ユニットin北京都ケアマネ部門会議	ユニットin北京都	3
ユニットin北京都介護部門会議	ユニットin北京都	5
ユニットin北京都小多機部門会議	ユニットin北京都	4
府老協丹後ブロック施設長会	京都府老人福祉施設協議会	2
与謝郡小規模多機能連絡会	与謝郡小規模多機能連絡会	1
与謝郡小規模多機能介護士交流会	与謝郡小規模多機能連絡会	1
与謝野町ケアマネ連絡会	与謝野町地域包括支援センター	3
与謝野町ケアマネ交流会	与謝野町地域包括支援センター	2
与謝野町認知症カフェ会議	与謝野町地域包括支援センター	2
与謝野町地域ケア個別会議	与謝野町地域包括支援センター	1
認知症コアメンバー会議	与謝野町地域包括支援センター	2

(11) 高齢者介護者教室

月日	内容	参加者数	会場
9月30日	宮津天橋高等学校「仕事図鑑」出講	1	宮津天橋高校加悦谷学舎
11月25日	石川小学校認知症サポーター養成講座	3	石川小学校

(12) 事故状況

事故の総件数については、前年度の629件より減少し、587件となりました。特に下半期では276件と大きく減少しています。一方で、受診に至った件数は、前年度の11件から12件と微増となっており、5月には誤嚥による窒息で特養の入居者が亡くなる事故も発生しました。その他の受診に至った事故については、全て転倒による骨折となっており、特徴としてはケアハウス入居者の転倒による骨折が3件含まれていることが挙げられます。

事故の種類別では、転倒・転落事故が176件⇒207件へ増加。介助中の事故は横ばいですが、外傷を伴う事故は158件⇒101件へと減少しており、特養・在宅サービス共に自身で歩かれるご利用者が増加し、直接介助が必要なご利用者が年々減少していることが事故の種類ごとの件数が変わってきた要因として考えられます。また、薬関係は98件⇒87件へと減少しています。殆どの報告が薬の飲みこぼしや服用忘れですが、誤薬も10件の報告があり、職員のミスによる事故が一件でも減少するように事故防止対策の強化と徹底に努めます。

総件数	転倒・転落	介助中事故	外傷	薬関係	誤嚥・誤飲	その他	内受診件数
587	207	39	101	87	2	151	12

(13) 満足度アンケート

回収率は66.0%と前年の61.2%を上回りましたが、在宅サービスと神宮寺では依然として低い回収率になっているため、次年度の取り組み時にはより多くの回答が得られるように広報や声かけ等を行っていきます。

回答の内容では、職員の言葉遣い・態度について、ほとんどの方から「丁寧」、「優しい」、「満足している」とお褒めの言葉をいただいた一方で、「教育が行き届いていない職員がいる」とお叱りをいただくような意見もありました。また、面会を制限している中で、「オンライン面会をさせてもらって満足している」といった声を複数からいただく一方で、「窓越し面会の際にあまり表情がなかったように思った」、「機械に対応できないので写真を送ってもらいたい」と、限定した形での面会では十分なコミュニケーションを図っていただけないもどかしさを感じる意見も幾つかいただきました。

その他には、入浴回数増加を希望する意見、送迎時間についての意見等、毎年のようにいただく要望もありましたが、全体を通しては、コロナ禍にあって職員への励ましや労をねぎらう言葉を多くの方からいただきました。まだまだコロナ感染症が収束する兆しが見えない中で、次年度についてもご利用者やご家族がより満足していただけるようなサービスの提供に努めます。

① 配布数と回収率

	配布数	回答数	回収率
特養	50	33	66.0%
ケアハウス	28	19	67.9%
在宅サービス	138	58	42.0%
神宮寺	15	5	33.3%
合計	231	115	49.8%

② サービスごとの満足度

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	合計
特養	29	1	1	0	2	33
ケアハウス	16	2	0	0	1	19
在宅サービス	46	9	0	0	3	58
神宮寺	4	1	0	0	0	5
合計	95	13	1	0	6	115
回答構成率	82.6%	11.3%	0.9%	0.0%	5.2%	

令和3年度 特別養護老人ホーム虹ヶ丘 事業報告書

1. 総括

令和3年度もコロナ禍において職員が感染源とならないよう感染防止に努めながら入居者の支援に努めました。施設全体の行事も殆ど中止となり、特養内では感染対策を行いながら最小限の取り組みを行いました。面会制限もあり、ユニットを越えた入居者同士の触れ合いや外部との接触は少なく、生活への刺激が少ない一年間でした。それによる入居者の身体面、精神面への影響なのか、生活動作の低下及び不安定な心理行動がみられる方もありました。

今年度は、開設以来最多となる19名の退居者がありました。入院中に病院での看取りに移行されたことで退居された方が1名おられた他は、死去による退居が18名おられました。そのうち12名の方については施設での看取りを支援させていただきました。これまでに蓄積された経験を元に早めに主治医からご家族への説明の機会を設け、コロナ禍におけるご家族の不安の解消にも努めました。また、お亡くなりになった方には食事中の誤嚥事故や急変など、予測のつかない事態で残念な結果となられた方もあり、原因を探り支援のあり方を検証しました。

昨年度から継続して24時間シートを活用するためにプロジェクト委員会が中心となって進めてきましたが、まだまだ足踏み状態で、職員の意識向上という大きな課題を残すことになりました。年度末には移乗用リフトを追加導入しました。入居者及び職員の安全かつ負担軽減が図られるような業務の標準化と共に、インカム等を活用した間接業務の効率化が図られるように、各種の取り組みを一層進めていきたいと思っております。

2 入退所状況

《月別入退所状況》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者数	1	2	2	0	4	0	1	1	1	2	1	3	18
退所者数	1	4	0	3	1	1	1	0	2	2	1	3	19
月末在籍者数	50	48	50	47	50	49	49	50	49	49	49	49	

3 入所者状況

今年度は満床で始まりましたが、毎月というほど退居者があり、多い月では4名の方が退居となりました。亡くなられた方の中には入居期間が1年未満の方が5人おられました。平均介護度は3.92と昨年度と同じですが、新しく入居された方の中には60～70代と年齢の低い方もおられます。前年度は転倒による骨折や誤嚥性肺炎で入院されるケースもありましたが、今年度は歯科衛生士の指導を受け、口腔ケアに取り組み、誤嚥性肺炎の予防につながり、肺炎での入院人数も減少しました。

日々の生活の状態を観察し、わずかな変化を見逃さないよう今後も看護職間や他職種間と連携強化に努めていきます。

(1) 介護度別在籍者数

介護度別	男性	女性	合計	構成比
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	1	1	2.0%
要介護3	5	12	17	34.7%
要介護4	3	13	16	32.7%
要介護5	3	12	15	30.6%
合計	11	38	49	100.0%
平均要介護度	3.82	3.95	3.92	

(2) 年齢別状況

年齢	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	1	1	2
70－79	4	7	11
80－89	3	11	14
90－99	3	18	21
100－	0	1	1
合計	11	38	49
平均年齢	80.9	84.8	84.0
最高年齢	97	102	
最低年齢	65	68	

(3) 出身地別

市町別	男性	女性	合計
与謝野町	8	32	40
伊根町	0	2	2
宮津市	2	1	3
その他	1	3	4
合計	11	38	49

(4) 入所期間割合

入所期間	人数	割合
10年以上	2	4.1%
5年以上～10年未満	12	24.5%
3年以上～5年未満	3	6.1%
1年以上～3年未満	18	36.7%
1年未満	14	28.6%
合計	49	100.0%

4 入所者の健康状況

(1) ご利用者の診察状況

診察別	入院		通院	診察別	入院		通院
	人数	日数	日数		人数	日数	日数
内科系疾患	11	132	62	耳鼻科系疾患	0	0	1
外科系疾患	0	0	0	皮膚科系疾患	0	0	72
精神科系疾患	0	0	27	泌尿器科系疾患	1	4	3
婦人科系疾患	0	0	0	整形外科系疾患	2	21	15
眼科系疾患	0	0	7	歯科系疾患	0	0	504
				合計	14	157	691

(2) 嘱託医来診状況

診療所別	来診実日数	1ヶ月当りの平均日数
宮津市由良診療所	26	2.16
伊藤内科医院	26	2.16

5 サービス状況

コロナ禍が二年目となり、感染対策としての行事の縮小や面会を制限している中で、特養内でできる最小限の取り組みを行いました。特養全体での体操は下半期に感染状況が落ち着きかけた頃に週一回のペースで再開しました。面会制限については感染の流行状況に合わせて対面の面会や窓越しの面会を使い分けて行いました。WEB面会もある程度は定着してきたといえますが、機械に不慣れなご家族からの問い合わせの声が多く寄せられているため、写真や広報誌を添えて様子を伝えたり、電話やメールで近況報告を積極的に行うように努めました。

(1) 部署・ユニット行事

月/日	行 事 名	参加者数	月/日	行 事 名	参加者数
4/7	喫茶	45	9/24	敬老祝賀式	30
4/21	喫茶	45	9/28	東2食レク	14
5/5	喫茶	45	10/4	喫茶	45
5/8	東2ビンゴ大会	14	10/20	喫茶	45
5/19	虹の会(合同喫茶)	45	10/25	東2食レク	14
6/2	喫茶	45	11/17	喫茶	45
6/23	喫茶	45	11/28	東2食レク(焼きそば作り)	14
6/27	喫茶	45	12/15	喫茶	45
7/5	喫茶	45	12/20	西2クリスマス会	14
7/21	喫茶	45	12/24	東1クリスマス会	10
7/26	西2カラオケ大会	14	12/24	西3クリスマス会	12
8/2	喫茶	45	12/26	東2クリスマス会	14
8/12	盆供養	25	12/27	もちつき	30
8/18	喫茶	45	1/5	東2初詣	4
8/25	東2食レク(餃子作り)	14	1/19	喫茶	45
9/6	喫茶	45	1/24	東2食レク	14

※10月より週に1回みんなの体操を再開。参加者平均7名

令和3年度 ケアハウス虹ヶ丘 事業報告書

1 総括

令和3年度は新規入居者数、退去者数共に3名あり、3月末時点で空室が2部屋となっています。入居理由としては、一人暮らしの生活を続けてきたが緊急事態宣言で遠方在住の息子が帰省できない状況に精神的不安定になられて入居された方、本人は知的障害がありご家族も介護認定を受ける状況となったため入居された方、都会で一人暮らしをしていたが、認知機能の低下にご家族が頻回に見に行くことが困難となられて入居された方がありました。2名はコロナ禍の影響を受けたもので、世相を反映した理由といえます。退居された3名については、体調悪化で長期にわたる入院が必要となり退居された方、同様に体調不良で入院中にお亡くなりになった方、もう1名は認知症の進行によりご家族が24時間介護付きの施設を希望され退所となった方がありました。

平均介護度は1.4で、要介護状態の方が退去されましたが、入居されている方も徐々に日常生活動作レベルが低下しているため、前年度の1.3と大きく変わりません。また、令和3年度は前年度と比較し、入院された回数が倍増、救急搬送についても3倍になったことも特徴的でした。救急搬送が必要なケースについては、入居前面接の時点である程度把握していた情報でもあったため、比較的早期に対応することができ、ケアハウスに入居された目的を満たしているのではないかと思います。

ケアハウス内の取り組みとしては、コロナ禍による面会制限の協力をお願いし、窮屈な生活を送っていただかないといけない状態ですが、その窮屈な中でも取り組めることを提案し、短時間であっても気分転換になるような体操や脳トレの時間を作るよう心掛けています。引き続き感染予防に留意するとともに、このような機会を計画し、心身共に安定した生活を送っていただけることを目指していきます。また、病気を持っていても、できる限り自立したその人らしい生活を送ることができるよう、これからも本人とご家族の意向を真摯に聞きながら、関係機関と密な連携を取り、丁寧かつ迅速な対応に努めていきます。

2 入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者数	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
退居者数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	3
月末在籍者数	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	12	12	

3 入居者状況

(1) 年齢別構成

年齢	男性	女性	合計
－59	0	0	0
60－69	0	0	0
70－79	0	1	1
80－89	3	3	6
90－99	0	4	4
100－	0	1	1
合計	3	9	12
平均年齢	85.6	90.3	89.2
最高年齢	89	100	
最低年齢	80	79	

(2) 出身地別状況

出身地	男性	女性	合計
与謝野町	1	7	8
伊根町	1	0	1
宮津市	1	0	1
その他	0	2	2
合計	3	9	12

4 身体状況

(1) 要介護度別 平均 1.4

介護度	男性	女性	合計	構成比
認定無	0	0	0	0%
要支援1	1	0	1	8%
要支援2	1	3	4	33%
要介護1	0	3	3	25%
要介護2	0	3	3	25%
要介護3	1	0	1	8%
要介護4	0	0	0	0%
要介護5	0	0	0	0%
合計	3	9	12	100%

(2) 在宅サービス利用状況

利用種別	実人員	対入居者割合	備考
訪問介護	9	75.0%	
訪問看護	6	50.0%	
短期入所	1	8.3%	
通所介護	6	50.0%	
通所リハ	0	0.0%	
小規模多機能	1	8.3%	

5 行事等の実施状況

(1) 行事

月	行事名
4月	買物サービス(毎週)
5月	買物サービス(毎週)
6月	買物サービス(毎週)
7月	買物サービス(毎週)
8月	買物サービス(毎週)
9月	買物サービス(毎週)
10月	買物サービス(毎週)
11月	買物サービス(毎週)
12月	買物サービス(毎週)
1月	買物サービス(毎週)
2月	買物サービス(毎週)
3月	買物サービス(毎週)

月例行事 懇談会(毎月月末)

(2) クラブ活動

月	(クラブ名)
4月	ズンドコ体操
5月	ズンドコ体操
6月	ズンドコ体操
7月	ズンドコ体操
8月	ズンドコ体操
9月	ズンドコ体操
10月	ズンドコ体操
11月	ズンドコ体操
12月	ズンドコ体操
1月	ズンドコ体操
2月	ズンドコ体操
3月	ズンドコ体操

令和3年度 虹ヶ丘ショートステイ 事業報告書

1 総括

令和3年度は、年度初めに主任の異動、1月には係長の異動がありましたが、月に55名～75名、平均で69名のご利用者の希望に対してできるだけ応えられるようにスケジュール調整を行い、受け入れ対応をしてきました。6月から9月にかけては1日平均18.3人の稼働で推移していましたが、秋以降は、老健や特養入所、入院や体調不良によるキャンセルが続き、平均稼働は前年度より0.1人減少し、17.6人の稼働となりました。稼働率は前年度よりわずかに減少したものの、平均要介護度は2.8と変わらず、ご利用者を個別にみていくと認知症の方や重度の方の利用は増えています。保険者別では与謝野町の方が殆どですが。前年度は利用がなかった京丹後市の方の利用希望があり、数ヶ月間にわたって断続的に受け入れを行いました。

今年度は受診に至った事故が2件ありました。1件は転倒の現場は見えていないものの、ご利用者本人が居室で転倒したと言われ、受診にて肋骨骨折と診断された事故がありました。一旦退所された方が次回利用までにケアマネジャーと一緒に訪問し、居室環境と今後の対応について詳しく説明し、同意を得た上で利用を再開していただきました。もう1件は転倒が続いていた方で危険性が高いことは認識していましたが、深夜帯に起きてこられて転倒され、肋骨骨折となった方がありました。ご利用者のアセスメントの他にもセンサーマットや赤外線チャイムを使用して事故防止対策を講じてはいますが、常にすぐ対応できる状況ではないため、事故に至ってしまうことも少なくありません。介護をされているご家族との相談を密に行い、ご利用者の様子や体調の変化を把握すると共に、複数のご利用者を同時に介護しなければならない職員の臨機応変に対応できる力をつけていけるようにしたいと思います。

会議の中で事例検討やミニ勉強会も取り入れており、今年度は施設内研修でユマニチュードを学んだ成果を、職員間で意見交換や情報の共有を行いました。学んだ知識を活かして利用中に少しでも安心して過ごしていただけるような関わり方を工夫しています。今後もご利用者のニーズに合わせ柔軟なサービスが提供できるように努めます。

2 利用状況

(1) 町別利用状況

月	与謝野町	伊根町	宮津市	その他	合計	1日平均
4月	531	0	1	0	532	17.7
5月	577	0	0	0	577	18.6
6月	554	0	0	0	554	18.5
7月	569	0	0	0	569	18.4
8月	561	0	0	0	561	18.1
9月	542	0	0	0	542	18.1
10月	523	16	0	0	539	17.4
11月	506	3	0	0	509	17.0
12月	516	0	0	3	519	16.7
1月	499	16	0	27	542	17.5
2月	444	8	0	27	479	17.1
3月	515	0	0	6	521	16.8
合計	6,337	43	1	63	6,444	17.6

(2)実人数・受入状況他

月	実人数	介護	予防	障害	1人当り平均利用日数
4月	68	63	3	2	7.8
5月	74	70	2	2	7.8
6月	74	69	3	2	7.5
7月	75	71	2	2	7.6
8月	71	66	3	2	7.9
9月	70	66	2	2	7.7
10月	72	69	2	1	7.5
11月	76	71	3	2	6.7
12月	68	64	2	2	7.6
1月	67	63	2	2	8.1
2月	55	51	2	2	8.7
3月	60	56	2	2	8.7
平均	69.2	64.9	2.3	1.9	7.8

(3)年齢別状況 3月度

年齢	男性	女性	合計
-64	2	2	4
65-69	1	1	2
70-79	0	5	5
80-89	1	17	18
90-99	2	26	28
100-	1	2	3
合計	7	53	60
平均年齢	83	88	87.5
最高年齢	101	102	
最低年齢	65	51	

(4)要介護度別状況(3月度)

介護度別 平均 2.8

介護度	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	0	0	0%
要支援2	0	2	2	3.4%
要介護1	1	7	8	13.8%
要介護2	0	11	11	19.0%
要介護3	4	19	23	39.7%
要介護4	0	9	9	15.5%
要介護5	2	3	5	8.6%
合計	7	51	58	100.0%

障がい区分別 平均 6.0

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	2	2	100.0%
合計	0	2	2	100.0%

令和3年度 虹ヶ丘デイサービスセンター 事業報告書

1 総括

令和3年度は、生活相談員及び介護職員の異動並びに職種変更から始まったことで、一時はきめ細かいサービスが十分に行き届かないような時期がみられましたが、その後は各職員がしっかりと職務に向き合い、各自で役割分担や連携も円滑に行える体制を築くことができました。

稼働の面では、他の居宅介護支援事業所からの新規利用の相談も増え、曜日ごとの登録者数も安定するかに思いましたが、定期利用には繋がらないケースも多くありました。冬期は骨折で入院される方が多くあり、復帰までに期間を要したことや退院後に老健入所をされる等、稼働率は減少傾向となりました。12月末には大雪となり送迎を行うことができず、休業した日が1日ありました。また、1月下旬にはデイサービス職員1名のコロナウイルスの陽性が判明しました。事業所内に濃厚接触者はいないとする保健所の判断により、可能な限りご利用者の生活に支障が出ないようにご利用者の体調観察を日ごと入浴と昼食のみに限定した短時間の営業を一週間行いました。しかし、その後は利用を自粛する方のキャンセルが続き、今年度の平均稼働率は19.7名/日と目標としていた平均ご利用者数21名/日には届きませんでした。

コロナ禍が続き外出や食事レクの制約がある中、園芸や創作活動、転倒防止や口腔機能の向上に繋がるような活動にも力を入れて取り組みを行いました。地域の方との関わりを持つことも難しかったですが、デイサービスの活動を知っていただけるようデイサービス新聞を発行しました。次年度もコロナ禍は続くと思われるので、引き続き感染防止対策を講じながらご利用者が安心、安全な環境で満足していただけるような活動が行えるように努めていきます。

2 サービス実績の状況

	開所 日数	実人数	介護	総合 事業・ 予防	障害	延利用 人数	介護	総合 事業・ 予防	障害	1日 平均	介護	総合 事業・ 予防	障害
4月	26	69	62	7	0	481	443	38	0	18.5	17.0	1.5	0.0
5月	27	71	61	10	0	521	470	51	0	19.3	17.4	1.9	0.0
6月	26	71	60	11	0	538	468	70	0	20.7	18.0	2.7	0.0
7月	27	75	64	11	0	566	494	72	0	21.0	18.3	2.7	0.0
8月	27	73	62	11	0	530	461	69	0	19.6	17.1	2.6	0.0
9月	26	72	60	12	0	521	450	71	0	20.0	17.3	2.7	0.0
10月	27	75	63	12	0	511	444	67	0	18.9	16.4	2.5	0.0
11月	26	75	63	12	0	522	450	72	0	20.1	17.3	2.8	0.0
12月	26	72	60	12	0	519	450	69	0	20.0	17.3	2.7	0.0
1月	27	73	60	13	0	493	428	65	0	18.3	15.9	2.4	0.0
2月	24	75	61	14	0	466	411	55	0	19.4	17.1	2.3	0.0
3月	27	75	62	13	0	548	476	72	0	20.3	17.6	2.7	0.0
合計	316	876	738	138	0	6,216	5,445	771	0	19.7	17.2	2.4	0.0

3 介護度別利用状況

(1)介護度別 平均 2.0

項目	男性	女性	合計	構成比
要支援1	1	1	2	2.7%
要支援2	3	8	11	14.7%
要介護1	4	14	18	24.0%
要介護2	4	21	25	33.3%
要介護3	3	8	11	14.7%
要介護4	1	4	5	6.7%
要介護5	0	3	3	4.0%
合計	16	59	75	100.0%

(2)障がい区分別 平均 -

項目	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	0	0	0	0.0%
区分3	0	0	0	0.0%
区分4	0	0	0	0.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	0	0	0.0%
合計	0	0	0	0.0%

4 年齢構成別登録状況

(1)介護サービス

	男性	女性	合計
-64	1	1	2
65-69	0	1	1
70-79	3	6	9
80-89	5	19	24
90-99	2	20	22
100-	1	3	4
合計	12	50	62
平均年齢	87.6	82.7	86.7
最高年齢	101	102	
最低年齢	63	51	

(2)予防・総合事業サービス

	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	1	0	1
80-89	1	6	7
90-99	2	3	5
100-	0	0	0
合計	4	9	13
平均年齢	87.8	87.1	87.3
最高年齢	99	98	
最低年齢	75	81	

(3)障がいサービス

	男性	女性	合計
-64	0	0	0
65-69	0	0	0
70-79	0	0	0
80-89	0	0	0
90-99	0	0	0
100-	0	0	0
合計	0	0	0
平均年齢	0.0	0.0	0.0
最高年齢	0	0	
最低年齢	0	0	

8 デイサービス行事

月	行 事 名
4月	花見ドライブ
5月	食レク(赤飯)
6月	あじさいドライブ
7月	なし
8月	夏祭り(金色夜叉の紙芝居と劇)
9月	芋ほり、食レク(さつま芋ご飯)
10月	なし
11月	紅葉ドライブ、文化祭(作品展)、食レク(赤飯)
12月	クリスマス会(へっこき嫁の紙芝居と劇、ズンドコ体操)、食レク(手打ちそば)
1月	なし
2月	なし
3月	なし

令和3年度 虹ヶ丘在宅介護支援センター 事業報告書

1 総括

令和3年度の居宅介護支援件数は1,229件と前年度に比べ75件減少し、月平均では102件となりました。件数は令和元年度をピークに二年連続で減少していますが、職員異動が行われ、ベテランケアマネから新人ケアマネへの配置換えにより、人材育成と並行してケアマネジメントの質を低下させずに業務を行うために、前年度下半期から新規ご利用者の受け入れを控えていたことが影響しているといえます。しかし、新人育成状況などを勘案しながら下半期からは積極的に新規ご利用者の受け入れを行い、今年度は23件を新たに受け入れました。また、介護予防支援件数は、地域包括支援センターから4件の委託を受けました。

居宅介護支援の目標件数として掲げていた月110件を大きく下回ることとなりましたが、新人ケアマネの育成を行うことでケアマネジメントなどの基本を振り返る機会になり、また、研修・地域の会議、事例検討会への参加や事業所内での会議や事例検討会などを行うことができ、事業所としても各々のケアマネとしてもスキルアップにつながったといえます。

コロナ禍における支援は二年目ということもあり、感染状況に応じた相談業務を柔軟に行うことができ、本人やご家族との相談や関係事業所との連携も図りながら丁寧かつスムーズに行うことができました。しかし、コロナ感染が収束することはなく、ご家族会の開催できなかったことは残念でした。

次年度は、引き続き人材育成と個々の自己研鑽に努め、質の高いケアマネジメントを提供し、地域に密着した信頼される事業所として維持できるように努めると共に、居宅介護支援件数を増やし、法人の財務状況の安定化につなげていきます。また、介護家族支援の面から感染対策に配慮した上で、ご家族会を開催できるように考えていきます。

2 事業実施状況

(1) 受入実績

	居宅介護支援									介護予防支援		
	件数	初回加算	特定事業所加算(Ⅱ)	入院時情報連携加算Ⅰ	入院時情報連携加算Ⅱ	退院退所加算	通院時情報連携加算	緊急時カンファレンス加算	ターミナルケアマネジメント加算	件数	初回加算	委託連携加算
4月	104	2	104	1	0	4	4	0	0	2	0	0
5月	102	2	102	2	0	3	1	0	0	2	0	0
6月	100	3	100	2	0	0	4	0	0	2	0	0
7月	101	0	101	3	0	4	5	0	0	2	0	0
8月	100	4	100	5	1	1	1	0	0	2	0	0
9月	98	1	98	4	1	5	2	0	0	3	1	1
10月	104	5	104	5	0	6	2	0	0	4	1	1
11月	103	1	103	6	0	3	1	0	0	3	0	0
12月	102	6	102	4	0	3	2	0	0	2	0	0
1月	102	2	102	2	0	4	1	0	0	2	0	0
2月	106	4	106	3	0	2	1	0	0	2	0	0
3月	107	1	107	2	0	4	2	0	0	2	0	0
合計	1,229	31	1,229	39	2	39	26	0	0	28	2	2

(2) 相談内容別・経路別実績

相談区分	件数	実人数	相談区分	件数	実人数
介護保険関係	177	57	他サービス利用	112	12
医療健康相談	2,394	141	介護保険以外のサービス	212	63
デイサービス利用	1,435	112	認知症の介護に関する相談	204	21
ホームヘルプ利用	551	50	介護に係る相談	126	34
訪問入浴利用	32	8	担当者会議	165	99
ショートステイ利用	734	72	モニタリング	1,379	133
訪問看護利用	550	50	虐待に関する相談	2	1
デイケア利用	94	9	権利擁護に係る相談	2	2
施設入所関係	227	47	その他	0	0
住宅改修・福祉用具	988	108	合計	9,384	1,019

区分	電話	来所	訪問	文書	FAX	メール	その他	合計
本人	807	46	1958	64	20	2	189	3086
家族	1411	75	1564	19	10	5	194	3278
関係機関	1565	73	1134	173	55	4	480	3484
相談協力員	1	1	0	0	0	0	1	3
その他	3	0	8	0	0	0	1	12
合計	3787	195	4664	256	85	11	865	9863

令和3年度 虹ヶ丘ホームヘルパーステーション 事業報告書

1 総括

令和3年度は、令和2年度後半から徐々に訪問件数が増えてきていた中で、町内の訪問介護事業所が1か所閉鎖したことにより引継ぎを受けたケースが加わって、夏以降は慌ただしいスケジュールが続きました。サービス区分の内訳としては、軽度ご利用者の割合が増えたことで家事援助型のサービスが増えました。そのご利用者やご家族からの要望は多岐にわたり、判断に悩むケースが増え、共感や受容をしながら支援する難しさを感じることも多くありました。一方で、看取りケアの関わりではご利用者のお気に入りの歌をヘルパーが楽器で演奏し、動画で届けることで、ご利用者だけではなくご家族も大変喜ばれ、職員のモチベーション向上にもつながることもありました。

障がいサービスでは障がい特性の理解やコミュニケーションの難しさなど課題を感じることも多いですが、介護保険の上乗せとして障がい支援認定を受けておられる方もあり、支給限度額を超過しても必要な支援ができる事業所の強みともなっています。障がい者枠の新規受け入れはなく、対象者は少ないですが、今後は障がいサービスに特化した研修も行き、対応力を身につけたいと考えています。

今年度はケース検討にも取り組み始め、それぞれの視点で意見を出し合う機会を設けるようにしてきました。ケース検討を通して発信する力、聞く力を培い、よりよい支援に繋げていきます。記録については、業務の効率化に向け要点を押さえた簡潔な記録を意識して取り組んでいます。また、訪問と訪問の間の時間を有効活用できるようiPadの持ち出しに向けて準備を進めています。ヘルパー同士の情報共有の方法もSNSを活用し、日誌の申し送り事項が各ヘルパーと同期できるようにするなど間接業務の削減に工夫しています。

1月からは1名のパート職員を加え、常勤3名、非常勤3名の体制になりました。令和4年度はサービス提供責任者を2名に増員し、また、新たに特定事業所加算Ⅰを算定し、今まで以上に知識、質の向上に努め、細かなところに気付き優しく寄り添う介護でご利用者、ご家族を支えていきます。

2 ご利用者状況

(1) 要介護度別 3月度 平均 1.9

	男性	女性	合計	構成比
要支援1	0	1	1	2.5%
要支援2	2	5	7	17.5%
要介護1	2	8	10	25.0%
要介護2	5	8	13	32.5%
要介護3	1	3	4	10.0%
要介護4	0	3	3	7.5%
要介護5	1	1	2	5.0%
非該当	0	0	0	0.0%
合計	11	29	40	100.0%

(2) 障がい区分別 3月度 平均 3.8

	男性	女性	合計	構成比
区分1	0	0	0	0.0%
区分2	1	0	1	25.0%
区分3	1	0	1	25.0%
区分4	1	0	1	25.0%
区分5	0	0	0	0.0%
区分6	0	1	1	25.0%
合計	3	1	4	100.0%

※介護保険サービス併用1名あり

(3)年齢別

3月度

	男性	女性	合計
－59	1	1	2
60－64	2	0	2
65－69	2	0	2
70－79	0	5	5
80－89	7	13	20
90－99	2	9	11
100－	0	1	1
合計	14	29	43
平均年齢	79.0	86.0	82.5
最高年齢	95	100	
最低年齢	59	51	

(4)サービス実績の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		介護保険サービス	身体介護	125	132	165	164	150	161	173	147	143	128	119
	身体生活	31	29	26	38	42	42	42	45	43	52	50	58	498
	生活援助	174	179	119	122	130	140	139	123	120	106	104	108	1564
	延件数	330	340	310	324	322	343	354	315	306	286	273	329	3832
	初回加算	2	3	2	2	5	1	2	0	2	1	1	4	25
	緊急時加算	1	1	0	4	2	0	0	0	0	1	1	0	10
	利用実人数	28	31	30	33	38	36	37	36	33	32	33	32	
総合事業		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	42	41	42	40	40	51	61	68	68	64	58	72	647
	初回加算	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	6
	利用実人数	5	5	5	4	4	5	6	7	7	7	7	8	
障がい		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	28	25	34	25	24	23	22	24	29	23	22	19	298
	利用実人数	5	4	5	4	4	4	3	4	4	4	4	4	
合計		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	延件数	400	406	386	389	386	417	437	407	403	373	353	420	4777
	利用実人数	37	40	39	40	45	44	46	46	43	42	43	43	508
	訪問時間	310:40	312:35	298:30	315:05	321:45	343:50	359:05	338:15	328:10	315:00	304:25	346:15	3893:35

※介護保険サービスと障がいサービスを併用している方あり

令和3年度 ふれあいホーム神宮寺 事業報告書

1 総括

令和3年度の登録者数は、年間平均19.0名/月と前年度を上回りました。今年度は12月まで登録者が伸び悩み、新規登録があっても短期間で施設入所や入院される方が複数あったため、稼働増に繋がりませんでした。しかし、1月に入り新規相談が急激に増え、結果として前年度より年間登録者数は増加しました。前年度4名おられた要介護4のご利用者は施設入所や入院等で3月末では1名ですが、要介護3が8名で、前年度より中重介護度者数は多くなっています。一方で、要支援3名、要介護1が8名と軽介護度の登録者が増えて、年間平均介護度は2.0と前年度より下降しています。

通いのニーズは高く、通い年間平均は前年度より増えています。訪問の年間平均は前年度より減少しましたが、訪問のみ希望する方も複数あり、3月には過去最高数に急上昇しておりニーズは高いです。泊りの平均数は前年度より減少し、実人数も少ないが、体調不良等の急な連泊の対応は行いました。

今年度もただちにサービスを要する困難ケースや、ご家族の協力が得られず金銭面・生命に関わる問題等に深く関与しないといけない案件がいくつもあり、地域包括支援センターと連携し、迅速かつ柔軟なサービス提供を行っています。全体的にサービス内容が複雑化し、ご利用者の徘徊による夜間の急な出勤や見守り、警察との緊密な連携によって生活が営んでいる案件もあり、3月末には登録者が24名になっていることもあり、4月から職員数が減るため、慌ただしさが増すことが予測されます。

年間を通しての活動は、コロナ禍で予定していた外出系の行事はほぼできていません。作品作り等の作業レクや脳トレプリントが盛んな他、可能な限り体操を行っています。また、境内の散歩を行い、狭い神宮寺の室内にコロナ禍で閉じこもるが故に身体機能が低下していかないように意識しています。

【地域支援事業】

今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、認知症カフェの中止が多くありました。昼食なし午後から実施のミニいしかわサロンを年間24回予定が、年間11回の実施に留まりました。6つの地区公民館を巡回していますが、年間通して1回しか行けない地区もありました。内容は、地区の参加者が主体となるよう要望を聞き、認知症予防の体操や脳トレゲーム等を実施するようにしています。また、参加者の要望により、感染予防を徹底しながらの外出も3回行いました。あわしまサロンも月2回ずつ、年間24回計画しましたが、年間10回の実施に留まりました。認知症予防の体操の他、ショルダーバッグやつまみ細工等、何回かに分けて大きな作品を製作しています。どちらのサロンでもコロナ禍の影響を受け、参加者も足腰が弱くなっていることや閉じこもりがちになっている等の話を伺っています。

また、毎年実施していた夏休み工作教室やもちつき大会は中止し、地域交流の機会はもてませんでした。しかし、サロンが中止になる分、自宅で取り組めるように脳トレプリントを石川地区に毎月全戸配布を行い、実施方法を工夫しながら認知症予防の取り組みを継続しています。

地域への訪問活動も感染状況を見ながら職員のみで延べ175件行いました。例年は民生委員と一緒に実施していた活動ですが、コロナ禍では民生委員も思うように活動できないと聞いています。認知症初期集中支援チームの案件を役場職員と共に動いたり、介護サービスの利用の電話相談を受ける等の活動も行っています。今後も各関係機関と連携、情報共有しながら支援を行っていきます。

2 ご利用者状況

(1) 利用状況

	月末登録者数	平均介護度	延通所数	延訪問数	延宿泊数
4月	18	2.4	294	454	12
5月	16	2.5	283	417	16
6月	18	2.2	288	441	9
7月	19	2.0	268	453	17
8月	17	1.9	254	451	10
9月	18	2.0	238	321	12
10月	18	1.9	232	280	10
11月	18	1.8	236	318	6
12月	18	1.9	227	334	4
1月	21	1.7	250	358	0
2月	22	1.7	269	426	4
3月	24	1.9	319	565	9
年間平均	18.9	2.0	263.2	401.5	9.1

(2) 登録状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規者数	2	0	3	2	0	2	1	0	0	3	2	3	18
中止者数	1	2	1	1	2	1	1	0	0	0	1	1	11
月末登録者数	18	16	18	19	17	18	18	18	18	21	22	24	

(3) 年齢別状況 3月度

	男性	女性	合計
－64	0	0	0
65－69	0	0	0
70－79	4	1	5
80－89	3	7	10
90－99	1	8	9
100－	0	0	0
合計	8	16	24
平均年齢	81.3	88.5	86.1

(4) 介護度別状況 3月度

	男性	女性	合計
要支援1	0	0	0
要支援2	2	1	3
要介護1	2	6	8
要介護2	1	3	4
要介護3	2	6	8
要介護4	1	0	1
要介護5	0	0	0
合計	8	16	24

3 部署行事

月	行 事 名
4月	壁画作り・送迎時に車内から桜の花を見る
5月	壁画作り・室内でゲーム
6月	近隣ドライブ(シーサイドパーク等)・梅干し、梅ジュース作り
7月	13日に神宮寺ご利用者だけでミニあわしま祭(心経あげ・昼食事会)
8月	お地藏さんの前掛け作り(大1・小24)・お盆の心経あげ
9月	敬老週間(3日間実施。昼食事会・プレゼント)・お彼岸(心経あげ・おはぎ作り)
10月	壁画作り・落ち葉アート・運動会(2日間)・ドライブ
11月	石川区文化祭参加・石川小学校4年生と交流会・大地蔵掃除と冬の肩掛け編み
12月	石川小3年生と交流会・クリスマス会・ミニ餅つき会・年越しそば
1月	新年祝賀式(おせち料理でもてなし)・石川小3年生施設見学
2月	節分(豆まきゲーム・昼食に巻き寿司)・石川小3年生と交流(アンケート)
3月	お彼岸(心経あげ・ぼたもち作り)・石川小3年生よりDVDと手紙プレゼント